

「JENESYS2.0」

2015 年度中国青年代表团

訪問日程 平成 27 年 7 月 14 日（火）～7 月 21 日（火）

1 プログラム概要

中華全国青年連合会が派遣した 2015 年度中国青年代表团計 59 名が、7 月 14 日から 7 月 21 日までの 7 泊 8 日の日程で来日しました。（総団長：李青（リ・セイ）中華全国青年連合会 副秘書長）

本事業は「JENESYS2.0」の一環として行われ、東京都、神奈川県、静岡県を訪問し、企業訪問や交流会、日本文化プログラム、日本青年会議所との友好 30 周年記念式典等に参加したほか、「クールジャパン」を含め、さまざまな分野における視察・参観を通じ、対日理解を深めました。

2 日程

7 月 14 日（火）

成田国際空港より入国、オリエンテーション

7 月 15 日（水）

第 1 グループ：国会議事堂視察、東京臨海広域防災公園視察、MEGA WEB 見学

第 2 グループ：経済人勉強会、（株）内田洋行訪問、東日印刷（株）訪問

共通：歓迎会

7 月 16 日（木）

東京国立博物館見学、秋葉原視察

7 月 17 日（金）

静岡県へ移動、和風温泉旅館での日本文化体験

7 月 18 日（土）

神奈川県へ移動、サマーコンファレンス視察、日本文化プログラム

7 月 19 日（日）

第 1 グループ：三菱みなとみらい技術館視察、地方団体マッチング、横浜みなと博物館見学

第 2 グループ：横浜美術館見学、ビジネスマッチング

共通：日本青年会議所・中華全国青年連合会友好 30 周年記念式典・祝賀会

7 月 20 日（月）

江戸東京博物館見学、浅草寺見学、商業施設視察、歓送報告会

7 月 21 日（火）

羽田空港より帰国

3 写真



7月15日 国会議事堂視察(東京都)

7月15日 考察国会议事堂(東京都)



7月15日 東京臨海広域防災公園視察(東京都)

7月15日 考察东京临海广域防灾公园(東京都)



7月15日 MEGA WEB 見学(東京都)

7月15日 参观丰田 MEGA WEB(東京都)



7月15日 細野豪志衆議院議員による経済人勉強会(東京都)

7月15日 细野豪志众议院议员在经济界人士进修会上演讲(東京都)



7月15日 (株)内田洋行訪問(東京都)

7月15日 访问株式会社内田洋行(東京都)



7月15日 東日印刷(株)訪問(東京都)

7月15日 访问东日印刷株式会社(東京都)



7月15日 歓迎会で江田五月日中友好会館会長と記念撮影する団員(東京都)

7月15日 欢迎会上与江田五月日中友好会馆会长合影(东京都)



7月16日 東京国立博物館見学(東京都)

7月16日 参观东京国立博物馆(东京都)



7月17日 和風温泉旅館で日本文化体験(静岡県)

7月17日 在日式温泉旅馆体验日本文化(静冈县)



7月18日 サマーコンファレンス視察(神奈川県)

7月18日 考察 SUMMER CONFERENCE (神奈川県)



7月18日 日本文化プログラム 国立科学博物館 鈴木一義氏によるからくり人形の講義(神奈川県)

7月18日 日本文化活動 国立科学博物館鈴木一義先生の機械人偶講座(神奈川県)



7月18日 日本文化プログラム(神奈川県)

7月18日 日本文化活動(神奈川県)



7月19日 三菱みなとみらい技術館視察(神奈川県)

7月19日 考察三菱港未来技术馆(神奈川県)



7月19日 横浜美術館見学(神奈川県)

7月19日 参观横浜美术馆(神奈川県)



7月19日 地方団体マッチング 日本経済研究センター北原基彦氏による講義(神奈川県)

7月19日 地方団体配对 日本经济研究中心北原基彦先生的讲座(神奈川県)



7月19日 地方団体マッチング(神奈川県)

7月19日 地方团体配对(神奈川県)



7月19日 帆船日本丸・横浜みなと博物館見学(神奈川県)

7月19日 参观帆船日本丸号・横浜港博物馆(神奈川県)



7月19日 ビジネスマッチング(神奈川県)

7月19日 商贸配对(神奈川県)

	
7月19日 日本青年会議所・中華全国青年連合会 友好30周年記念式典（神奈川県）	7月20日 江戸東京博物館見学（東京都）
7月19日 日本青年会議所・中華全国青年連合会 友好30周年記念典礼暨庆祝大会（神奈川県）	7月20日 参观江戸東京博物館（東京都）
	
7月20日 浅草寺見学（東京都）	7月20日 歓送報告会 訪日成果報告（東京都）
7月20日 参观浅草寺（東京都）	7月20日 欢送报告会 团员汇报访日成果（東京都）

4 参加者の感想（抜粋）

○ まず、日中友好会館がこの度の訪日のためにこれほど多様なプログラムを組んで下さったことに感謝する。我々は、環境保護、経済、歴史、文化、グルメなどさまざまな面で、日本に対していっそう理解を深めた。個人的に最も印象深かったのは日本の防災であり、東京臨海広域防災公園での体験である。日本は地震の多い国であり、こうした地理的特性から、防災プラットフォームを設け、国民に対して地震対応の知識のPRを行っているが、それはただ単にポスターを掲示したりビラを配布するだけのものではない。中国を鑑みれば、現在の大気汚染は非常に深刻な問題である。日本と同じように汚染環境のシミュレーションを行えば、あるいは中国国民の環境保護意識はより高まるかもしれない。

あるひと言が強く印象に残っている。“教育は子供から行う。多くの事柄は大人が子供に教えるのではなく、子供が大人に教えるのだ。”今から、就学児童に対して習慣として養えば、ごみの分別であれ、省エネ節電であれ、十年後、二十年後には、中国もいっそう強大な国になることができる。

今回の訪日は大変勉強になった。ありがとうございました。

○ 訪日する前は、日本のことは教科書や青島に住む日本人の友人を通じて得た知識しかなかった。訪日し、現代の日本を直接の体験を通じて知ることができた。日本人とより近距離で交流し、理解でき、特に日本文化に対する理解を深めることができた。

ビジネスマッチングプログラムでは、日本の多くの企業が中国市場への参入を希望し、すでに多くの企業が中国に工場やビジネスパートナーを持っていることを知った。訪日プログラムの実施は、参観や相互交流を通じて、お互いの理解をより一層深めることができ、プロジェクトの着実な実施や良好な基盤作りを促進することができる。私個人としては、中華全国青年連合会の持つメリットを生かし、協力の意向のある中日企業双方に対して、現地の政策や環境作りの提供、地域ベースでの訪日マッチングなどの業務を進め、両国の貿易交流を推進したい。両国青年の発展のために、微力ながらも貢献したいと思う。

○ ① 感動：全世界が高度成長の時代にあっても、日本人は文化や伝統を尊重し保っている。台風の影響で日程に支障が出た際の、日本側のスピーディな対応に感動した。

② 感銘：日本の伝統文化の継承に最も強く深く感銘した。例えば、からくり人形制作の体験では、伝統的な人間性あふれる事柄が実は科学技術発展の動力になっていることに感銘を受けた。また、日本人のマナーは、物事を行う細部にまで行きわたっていた。

③ 感謝：日本青年会議所、日中友好会館の行き届いたご手配と、中国側との協力態勢に感謝する。

○ 最も印象深かったのは、内田洋行の訪問である。オフィス用品のデザインにおいては、単なる椅子ですらも、そのラインや人に優しいデザインまで、私は衝撃を受けた。デザイン性に優れ、シンプルを基調に、最もシンプルな方法で使用者に最適な体感を提供することを追求している。これが私には最も強く印象に残った。知恵を結集して、複雑なことを如何にして簡単にするか、簡単なことをより究極を目指すか。私は、物事に取り組むこの姿勢こそ、真剣に学び且つ周囲の人々にも伝えていきたい事柄だと感じた。

- ① 日本人は憂国の情が非常に強い民族であり、緻密を求め資源を徹底利用することを知った。
- ② 日本の科学技術を牽引するその起源は“匠の精神”と、幼児期からの教育的啓蒙にある。
- ③ 都市化においては、中国と日本の差は縮まっている。
- ④ 日本の法人あるいは経済界は、中国との友好往来を強く支持している。
- ⑤ 今回、フライトが(天候により)一部変更となったが、我々の日程に影響が出なかったのは、やはり日本人の業務に対するまじめさときめ細やかさによるものだ。
- ⑥ 日本の都市管理はヒューマンケアと法制化が融合しており、便器に至るまで微に入り細にわたって考えられている。一方で、環境保護に関しては厳格に規制されている。

○ 来日前から、日本人の勤勉さやマナー、環境保護などの評判を聞いていたが、来日後はその印象がますます強くなった。日本の公共サービスの精神とその専門性のレベルに対して、一層理解できた。日本の一般市民が公民権を享受していることや、政府の規制や監督権に対して一層理解できた。政府の防災、被災者対策、一般市民の教育水準に感服した。

- ① 都市が清潔で整然としており、厳格な管理が一般市民の自律精神を養うと同時に、都市に対する愛情も生み出している。
- ② 謙虚で慎み深い態度。交流した日本側の人々は常に穏やかで礼儀正しく、情熱的でおおらかだった。
- ③ イノベーション精神と情熱。イノベーション精神を持つ民族だけが進歩発展できるのであり、日本側の講演で語られたイノベーション精神と青年指導の方法は、参考にし、学ぶべきものである。

○ 事実は雄弁に勝る。物事の本質は理性的であり、客観的にとらえるべきである。

日本に来る前、日本に対する知識は主にメディアやネット情報によるもので、日本の印象もぼんやりとしたものだった。今回日本に来て、これまでの認識はやはり偏りのあるものだったと知った。日本人の一般的教養は全体にとっても高く、経済や文化の発展は世界のトップクラスである。文化面においては、日本の文化は中国から学んだり導入したものが多いが、しかし、その伝承や発展の成果は、中国より優れている。

日本人の真面目さ、緻密さ、理性、科学技術のイノベーション意識は、中国の青年が学ぶべきものである。日本は科学技術を生産力に転換する力が非常に強く、このことが、小国でありながら多くの面で世界をリードしている重要な要因である。また、日本は開発の過程においても先見性があり、長期的計画を重視している。

- ① 日本は国民の一般的教養が高く、街が整備され、ごみの分別は個人が行う。優れた公民意識と秩序を有している。
- ② 日本は民間組織に活力があり、メンバーは友好的で情熱を持ち、個人においても傑出した公益への貢献意識がある。
- ③ 日本の中小企業は企業文化の継承とイノベーションに注力しており、日本文化を製品に取り入れて付加価値を生み出している。

- ④ 日本の歴史は長くはないが、文化の伝承と保護に関しては、国家や集団意識の育成に優れ、小中学生は国家に対して高いアイデンティティと誇りを持っている。

○ 今回の訪日を通じて、日本の経済発展の成果を感じることができた。我が国と日本とを比較すると、経済発展の質の面ではまだ大きな差がある。日本は経済発展を重視すると同時に省エネや環境保護、新エネルギーや資源の総合利用についても非常に重視して、本当の意味でのグリーンディベロップメントを作り上げ、調和のとれた発展と持続可能な開発を作り上げた。社会全体の文化面においては、文化教育が積極的かつ効果的に行われ、国民全体の一般的教養が高く、文明社会が実現されている。社会全体が秩序正しく整っており、見習うべき国である。